

第4期恵庭市総合計画（基本構想検討案／基本計画検討案）について（回答）

パブリックコメントを実施（8月1日～8月22日）しましたところ、8名の方からご意見をいただきました。いただいたご意見の内容とそれに対する総合計画での対応について次のとおり公表します。

（ご意見総数）

合計 8件 （FAX 2件 郵送 2件 メール 3件 持参 1件）

（回答方法）

今回のパブリックコメントは、総合計画基本構想検討案・基本計画検討案（以下「検討案」という。）を公表し、その検討案に対する意見や提言をいただいたものです。提出されたご意見等に対しての検討案での考え方を示すとともに検討案を修正した場合においては、修正内容を明らかにするものです。

なお、基本構想、基本計画は、まちづくりの基本的な方向性を明らかにするもので、具体の施策・事業については、今後、策定されます実施計画や個別の行政計画の中で示されます。今回のご意見の中には個々の事業に関するものが多くありましたが、これらのご意見については、今後の実施計画づくりの中で参考にさせていただくとともに施策・事業を進める際の参考にさせていただきます。

（対応の内容）

寄せられたご意見を、趣旨ごとに分けながら回答を行っています。

また、下記の区分に分けながら、対応について分類を行っています。

- A 意見の趣旨を反映したもの（意見等が、検討案に反映されているもの）
- B 意見を受けて修正したもの（意見等を反映し、検討案を修正したもの）
- C 今後、施策・事業を検討・実施する際に参考にさせていただくもの（意見等が、検討案に直接、言及するものではないが、施策等に対する考えを示しているもの、又は、今後、策定される実施計画や個別事業計画等にかかわる意見の場合）
- D 趣旨を反映できなかったもの（意見等を検討案に反映できないもの）

（回答）

	意見等の概要	対応	対応の内容
1	恵庭は恵（めぐまれる）庭（にわ）と書く街なのに花・緑と言う印象は低い。将来都市像の水緑花人と4つの将来のまちの姿は、綺麗な言葉で表現されているだけで現実的なことが見えてこない。「水緑花人」の4つの言葉に当てはまる場所は無いのでは？4つの言葉と道の駅などのタイアップはどうでしょう？	C	市内にある河川や水辺環境の「水」、公園や防風林等の緑の帯の「緑」、ガーデニングが盛んな「花」が、恵庭らしい地域の個性として存在することが市民の共通認識となってきましたし、貴重な地域資源であると考えています。 また、道と川の駅事業は、「花、水、緑」さらには、農業などを意識した「田園・まき

	意見等の概要	対応	対応の内容
			<p>ば」というイメージコンセプトで進めています。「人」については、隣接する恵み野地区の活動や花卉生産者、花に関係する市民団体の活動の紹介、さらに各種イベントにおいても、地域性と市民との協働という視点で進めていく考えです。</p>
2	<p>沿道の花壇ぐらいならこの町でも同じ。季節限定の取り組み(イベント)なら人が集まって、町も潤い仕事も増えて求人率も上がるのでは？</p> <p>恵庭は、温泉もあるし、緑もあるし、千歳の隣町と言う色々好条件が揃っているのに通過だけで足を止めるきっかけが無い＝見るところが無い。</p>	A	<p>観光資源としての条件は整っており、「見るところが無い」のではなく、それらの観光資源を生かす事業化や情報発信の取り組みが弱かったことが問題と思われる。恵庭市民だけでなく、他地域の人へのPR活動を行うとともに、情報発信機能の整備や観光事業化を進めて地域活性化につなげていきたいと考えています。</p>
3	<p>4つの言葉に見遊食休の4つの言葉も入れ、恵庭の町ならではの花を育てて見てもらい緑の中に屋内屋外の遊びの施設を造る。恵庭は子育て支援に力を入れているが子どもが天気や季節に関係なく親と遊べる場所や過ごせる所が無いと思う。</p> <p>遊びの屋内施設と学びの屋内施設(図書館・プール他)、屋外はパークゴルフコースやアスレチック、水を使った遊び場所、高齢者、障害者、乳幼児など人に合わせた遊と休の提供と恵庭の食材はもちろん近隣の良い物はとり入れ食物の充実を考えないとリピーターは来なくなってしまう。</p> <p>関係業者は恵庭に会社があるのを条件にするなど市の業者も潤い働く人も増えるのでは。</p>	C	<p>子どもが天気や季節に関係なく遊べる場所や過ごせる場所ということですが、総合計画でも子どもが遊び育つ環境を整えることに取り組むということで、次世代育成支援行動計画に位置付けている「子どもの居場所づくり(仮称)子どもセンター事業」等を進めていきます。ご意見について、今後の各種施策の計画づくりの中で、参考とさせていただきます。</p>
4	<p>総合運動自然公園も場所が悪い。緑水花があっても人が集まらなければ意味が無い。</p>	C	<p>総合運動自然公園につきましては、自然環境と景観の優れた地域として設置にふさわしい場所と考えており、周辺の自然環境を生かしながら市民に親しまれ活用される公園づくりをめざします。</p>
5	<p>近隣に無い施設(大型電気店、大型玩具店の様な暮らしに必要な施設)を造る事で四季などで集客率が低迷しないように複合施設の誘致によって人口の増加にも繋がるのでは？ただし、農も大切な恵庭の姿なので場所などは考えるべき事と思う。</p>	C	<p>大型店の増加は、地域住民の生活を支えてきた地元小規模商店の衰退・廃業に追いやられるという状況があります。そうした中、大型店進出の規制緩和が進んでいることから、基本計画では、これまで市民生活を支えてきた商店街・個店の活性化に努めることに力点をおいた施策展開を考えています。</p>

	意見等の概要	対応	対応の内容
6	恵庭市の地形・環境は非常に優れて、素晴らしいこの地形を今後とも崩さず生かした環境を整える『まちづくり』でありたい。	A	基本構想で、恵庭の自然環境や地域環境を守るとともに、そうした地域の魅力を生かしたまちづくりを進める考えを示しています。
7	まちの将来像は『健康福祉都市』（他に『住みたいまち・住んでよかったまち恵庭』）とし、将来の人口減少を予想、人口の目安は75,000人（他に、70,000人程度）。	D	審議会でも種々協議がなされ、美しいまち、地域への誇り、人と人とのコミュニケーション、そして暮らしやすいまちにという思いで将来像を「水・緑・花 人がふれあう 生活都市 えにわ」と決定させていただきました。 計画想定人口は、将来人口の推計を行いながら、就業環境の整備や質の高い生活環境の提供などによる定住人口の増加を考慮して、76,000人と想定しています。
8	基本目標（1）については、新規の開発や建物は自重すること。	C	恵庭の自然環境や地域環境を守ること、そうした環境をまちづくりに生かした総合的なまちづくりを考えていきます。
9	基本目標（2）では、住みよいまち・健康福祉都市の最重要、優先課題として位置付け、「子どもを育てるなら恵庭で」と誰もが思えるような思い切った施策に踏み切る。（例えば、乳幼児医療費は小・中学生まですべて助成するなど）	C	子育て支援策である「えにわっこプラン21」が平成17年度からスタートしており、様々な支援施策（認可外保育園への助成等）を展開しています。また、乳幼児医療費の小中学校生までの拡大（現行、就学前）については、今後の施策検討の上で参考とさせていただきます。
10	基本目標（3）では、耐震・アスベスト対策を考えた大規模改造は緊急問題、プールの温水化、学校図書館の充実、児童館の増設、留守家庭児童会の充実等。	A	大規模改造事業は、耐震化推進と併せて、今後計画的に推進していきます。 プールの温水化については、当面具体的な整備計画はありませんが、現在、恵庭南高校に温水プールを設置していただくよう道教委に要請しており、その動向も見ながら今後の検討課題としていきます。 児童館の増設、留守児童会の充実については、次世代育成支援策の中で実現をめざしています。
11	基本目標（4）では、生活道路の整備に地域格差が大きく、遅れた所を優先的に整備。歩道が痛んでおり、痛みの度合いに応じた整備を、特にバリアフリーに対応した整備を。	A	市街地の道路整備について、道路舗装整備率の向上をめざし、計画的に整備を進めています。また、バリアフリーについては、「恵庭市交通バリアフリー基本構想」にもとづき、恵庭駅・恵み野駅を中心とする重点整備地区内の主要な道路のバリアフリー化を進めていきます。

	意見等の概要	対応	対応の内容
12	<p>ゴミ問題は、いま検討中のガス化溶融炉方式は問題があり過ぎるのでやめて処理方式を再検討する事。</p>	C	<p>ご意見について、今後、事業を検討・実施する際の参考にさせていただきます。</p>
13	<p>基本目標（５）では、小規模工事等希望者登録制度の創設、住宅リフォーム助成制度の創設、市営住宅の補修、学校給食に地元農産物の使用、地産地消、有機農業の支援など農業の活性化を、新規就農希望者に対する支援、商店街（空き店舗活用を含む）の活性化を。</p> <p>恵庭市は農業を基本産業として育ててきて、これは今後も変わらないが、現状にマッチした農業政策を見定め、都市型と農村型の市民が共存する恵庭ならではのまちづくりを目指し、必要な援助指導の対策が重要となる。</p>	A	<p>市営住宅の補修、学校給食に地元農産物の使用等、既に実施しているものがありますが、農業分野での施策は、基本計画で取り組むことを明記しています。具体的には、農業振興計画の見直しの中で検討していきます。</p> <p>商店街の活性化については、基本計画で古くから市民生活を支えてきた商店街・個店の活性化に努めることに力点をおいた施策展開を考えています。</p>
14	<p>基本目標（６）として、計画の途中で市民に公開する事。緊急なものはあるだろうが、特に新規開発事業については、市民を信頼し長期的な展望を示しながら合意を得て進める。</p>	C	<p>基本計画の中で、広聴業務を強化するとともに市民と行政が協働して地域課題に取り組むことができる行政システムの確立をめざすことにしており、パブリックコメント制度等の事業を実施していきます。ご意見について、施策・事業を検討・実施する際の参考にさせていただきます。</p>
15	<p>基本目標（４）に関して、ゆとりある住宅への建て替えが可能となるよう、恵み野地区の容積率の緩和、見直しを希望いたします。</p>	C	<p>容積率の緩和、見直しは都市計画で定められています。恵み野地区の用途地域は、良好な住環境を保護する観点から第１種低層住居専用地域を中心に都市計画決定がなされていますが、ご意見も踏まえ、次期（平成 22 年頃）の見直しの中で議論していきたいと考えています。</p>
16	<p>恵み野公園の水路に、絶滅危惧種に指定されているバイカモが育っています。水路に自然発生したもので、全国であまり例がありません。刈り取らずに保護してください。</p>	B	<p>バイカモの生息している水路は、公園内の人工水路で、維持保全上、最低限の刈り取りなどの必要があります。しかし、貴重な種とは認識しており、対応に配慮しています。</p> <p>なお、基本計画（「自然と共生する環境活動に取り組みます」）に「希少な動植物の保護など」の文言を追記し、自然環境と希少な動植物の保護・保全に努めることを明記します。</p>

	意見等の概要	対応	対応の内容
17	地域の特性、現状と問題点に関する調査と分析、地域社会発展の移行に関する調査と分析、地域社会経済の仕組みと将来見とおしに関する調査と分析が抜けています。	C	基本構想、基本計画の検討にあたっては、地域の特性、現状と問題点等の調査・分析を行い、検討を進めてきました。パブリックコメントの資料公表にあたっては、市民意識調査の結果報告等各種資料を参考資料として用意しましたが、今後におきましても、ご意見の趣旨を踏まえ、施策・事業を検討・実施するには各種調査分析を行っていきます。
18	地域住民の意見や要望を聞いて、反映する事は大切であるが、住民が持っている地域意識や地域政策に関する情報と知識は、必ずしも完全ではありません。地域社会発展の移行に関する調査と分析と「政策討論会」を併用し、専門家が策定する事が、ベターです。	C	総合計画の策定にあたっては、各分野の専門家や大学等の先生、市民団体からの参加者などからなる総合計画審議会で検討が行われるとともに、シンポジウムの開催やパブリックコメントにより、多方面からの意見をいただきながらまとめています。
19	多くの人と多くの時間をかけての検討案ですが、「21世紀のあるべき恵庭の姿」を考えるに、「このまち恵庭を、誰が、まちづくりをするのか」という「主役」を明確にする必要があります。	A	市民が主役ということを前提に、市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める考えを示しています。
20	心の通い合う元気な街づくり 心の通い合う街づくり 地区住民のコミュニケーションの場として共同作業をとおして絆を深める、住民参加型の街づくり（委託事業の推進（堤防除草、公園清掃等の軽作業を町内会に有償委託）	C	自主的に街区公園の美化活動（清掃・除草）に取り組んでいる町内会に対して活動費の一部を助成していますが、基本計画においても、市民との協働で維持管理を進める考えです。
21	いつまでも生きてて良かったと思える街づくり 高齢化社会に対応するため「心のゆとり」と「安心治療と安心相談」が受けられる環境をつくる必要がある。（総合医療機関の誘致、既往医療法人の設備の充実・向上。医療従事者の「心」「優しさ」「思いやり」教育の推進。医療保障の拡充）	C	高齢者社会がますます進展する中で、ご指摘のような環境づくりは、非常に重要なことですので、今後、関係機関・団体に要望していきたいと考えます。

	意見等の概要	対応	対応の内容
22	<p>汗から喜びを感じられる街づくり 家族全体での協働行動から生まれる家族の和、隣人との共通の話題等の誘因を計り、認識の共同化を図ることによる人間関係の融和、喜びが溢れる環境を形成します。 (市民菜園・庭づくりの拡充と支援策の推進。農業者との交流の促進と支援の推進。消費活動の推進と保護。)</p>	A	<p>基本計画の中で、農作業の体験や市民農園、直売所など農業にふれあう機会を提供する交流事業を推進する考えです。個別事業につきましては、今後、農業振興計画の中で検討していきます。</p>
23	<p>安心・安全の街づくり ゆとりのある住環境整備の推進(「花の街えにわ」の特徴を引き出す住空間環境の改善が必要(広い庭のまちなみを形成)) (市街地再開発計画の検討。用途地域の見直し。地域計画・地区計画を策定。該当地区の税の緩和策等による促進策。)</p>	C	<p>基本計画の「都市地域にかかる土地利用」の項目で、美しい都市環境の形成を計画的に進める考えでいますので、ご意見の趣旨を参考にさせていただきます。</p>
24	<p>安全、安心の市街地整備 住空間にゆとりを持たせ遊歩道の確保をするなど交通の安全、防犯設備の推進を図り安心して通行できる町並みを形成。 (高品質の道路整備(バリアフリー化等)。「やさしい道」づくりの推進(拡幅、除排雪体制の向上等)。電線のない街づくりの推進。堆雪場の整備および複合利用。</p>	C	<p>市街地の道路整備について、道路舗装整備率の向上をめざし、計画的に整備を進めています。また、バリアフリーにかかる事業では、「恵庭市交通バリアフリー基本構想」にもとづき特定経路の整備を最重点に進めるとともに、歩道の補修等も進めていく考えです。</p> <p>通常、除雪作業は、一定量の降雪があった場合に行いますが、それ以外にも、幹線道路の排雪、生活道路の拡幅、わだちの解消の作業も状況に応じて随時行っています。</p> <p>電線のないまちづくりについて、策定が計画されている「景観形成ガイドライン」のなかで、調査研究を進めたいと考えております。</p> <p>堆雪場の整備および複合利用について、市街地に雪を堆積し複合利用するとの内容だと思いますが、市街地での堆雪場は、騒音・振動等の環境問題に加え、融雪時の対応が困難と思われるますが、今後の雪捨て場確保も重要な課題と考えておりますので参考とさせていただきます。</p>

	意見等の概要	対応	対応の内容
25	<p>「花のまち恵庭」を訪れる見学者に、花の魅力伝えるには、現在の市民活動を育てるとともに「花のまち」としてスケールの大きなインパクトのある空間づくりを行うことが望ましく、大きな花畑を造成すると良いと思う。恵庭の観光資源として大いに活かされたいと思います。</p> <p>そのために、総合運動自然公園においても、スポーツ施設の新たなものは作らないで、上記の空間づくりを計画の中に活かされるべきと思う。</p>	C	<p>今後、見直しを行う「花のまちづくりプラン」の中で、現状の検証を市民アンケートなどの手法も含め検討した上で、「花のまち恵庭」の将来像などを検討します。</p>
26	<p>主要産業について、交通の便利な恵庭において製造業を中心とした第2次産業化に重点を置くのが最適ではないか。地域雇用を望める大規模な業者、業種をターゲットに誘致を働きかけるとともに更なる交通網の充実が重要。特急の恵庭停車が必要と考える。</p>	C	<p>基本計画では、様々な地域資源を活用し地域産業の活性化を図るとともに雇用効果も考慮し第2次産業等の企業誘致にも努力する旨記載しています。また、広域幹線道路及び公共交通機関の充実は、今後も重要な課題であり、関係機関とも連携して検討を進めていく考えです。ご意見について、施策・事業を検討・実施する際の参考にさせていただきます。</p>